

海況情報【内湾湾口観測結果】

愛知県水産試験場漁業生産研究所

令和6年10月28日

【観測結果（調査日：10月21、22、24日）】

10月21日に伊勢湾北部、22日に南部、24日に渥美外海の観測を実施しました。

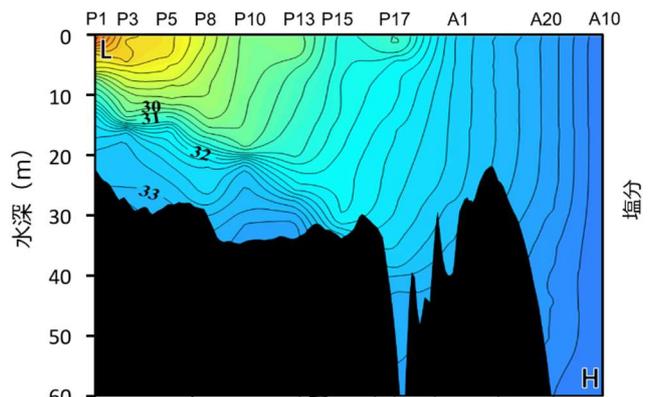
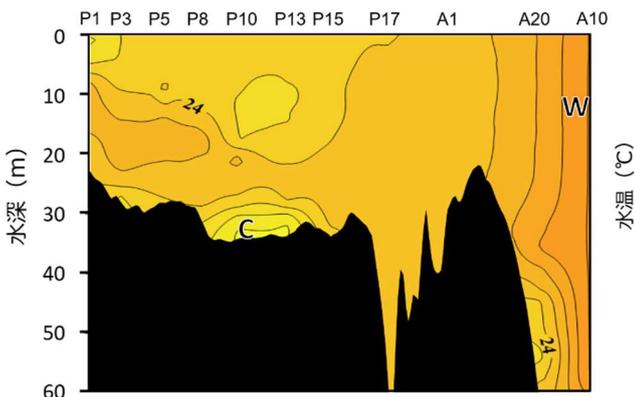
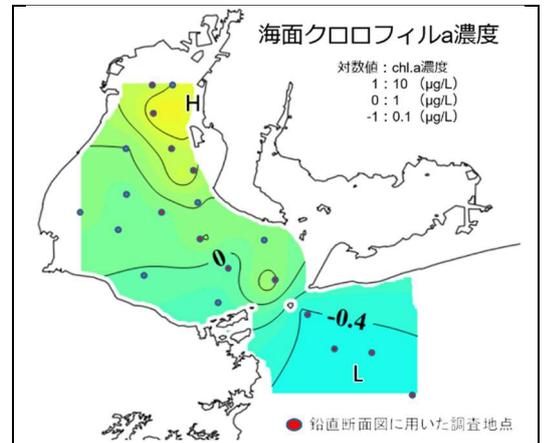
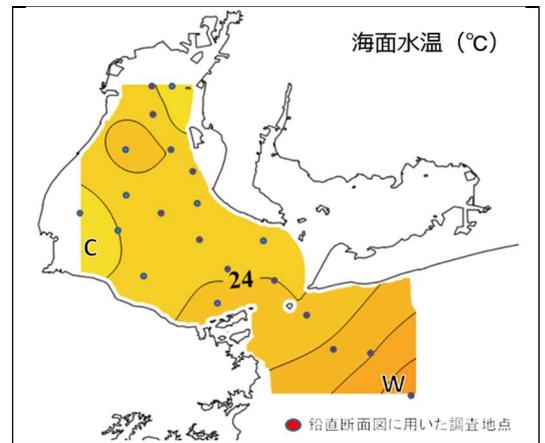
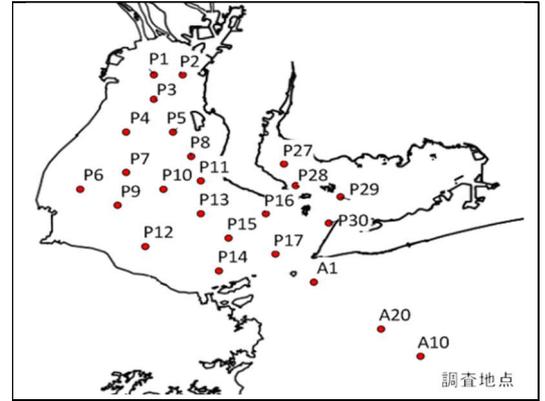
【水平分布（調査点：P1～A10）】

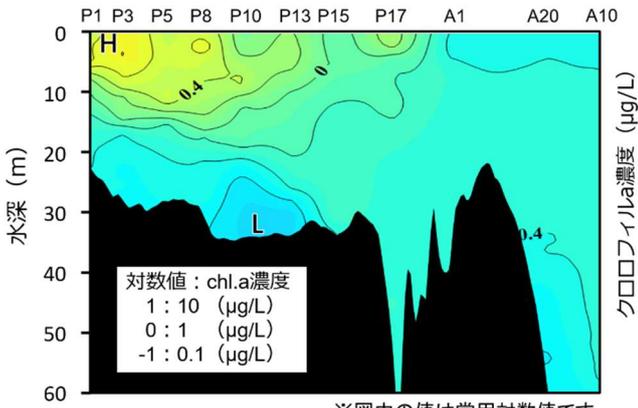
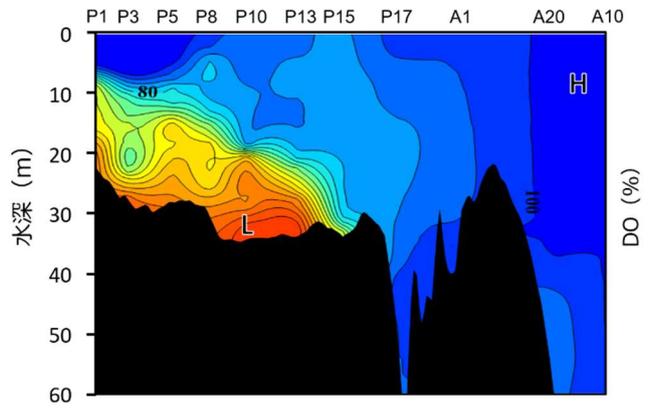
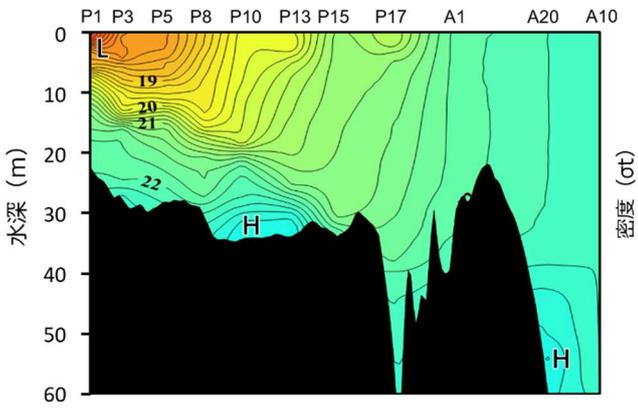
海面水温は、伊勢湾湾奥と伊勢湾湾央の三重県側で比較的に低く、渥美外海が高水温傾向となっています。

海面クロロフィルa濃度は、伊勢湾湾奥で高く、渥美外海で低くなっています。

【鉛直分布（調査点：P1～A10）】

伊勢湾は、日射の影響が弱まった結果、表層と底層の水温差が小さくなっています。一方で、河川水の流入より成層状態は維持されたため、今月上旬まで解消されていた貧酸素水塊（溶存酸素濃度30%以下）が湾奥（P1）～湾央（P15）までの底層に形成されています。今後、気温の低下に伴って、より鉛直混合が盛んになり、貧酸素水塊が解消されると考えられます。





※図中の値は常用対数値です